

1997～98年

年 次 報 告

平成9年～平成10年度



横浜緑ロータリークラブ



ロータリーの心を

あなたの住むところ
 私たちの世界
 そこに住むすべての人々に

Glenn Kinross

グレン W. キンロス
 1997-98年度RI会長



第2590地区	ガバナー	岡本徳彌
横浜緑ロータリークラブ会長	遠藤一典	

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	4
活 動 報 告 書	9
理 事 会 議 事 録	13
総 会 議 事 録	19
S . A . A 報 告	20
クラブ奉仕委員会報告	21
出席委員会報告	23
職業分類委員会報告	26
親睦活動委員会報告	26
雑誌委員会報告	27
会報委員会報告	28
会員選考委員会報告	28
会員増強委員会報告	29
プログラム委員会報告	29
ロータリー情報委員会報告	32
広報委員会報告	32
社会奉仕委員会報告	33
青少年奉仕委員会報告	33
青少年委員会報告	34
インターアクト委員会報告	35
ローターアクト委員会報告	35
職業奉仕委員会報告	36
国際奉仕委員会報告	36
世界社会奉仕委員会報告	37
ロータリー財団委員会報告	37
米山奨学委員会報告	38
会 計 報 告 書	40
横浜緑ロータリークラブ組織表	42
備 品 目 録	43
充填・未充填職業分類表	44

会 長 報 告

会 長 遠 藤 一 典

年度始めの計画にあたり、横浜緑ロータリークラブの目標として岡本ガバナーの意を受けて、——あなたの奉仕を職場に……地域に……——とかかげスタートとしました。具体的には「思いやりの心とリーダーシップの発揮を」と「一人ひとりの気配りと奉仕の輪を」の二点をあげてきましたが、自身どうだったのかふりかえっているところです。

毎例会、ロータリーの精神と活動内容をもっと知りたいと思い関係資料や、情報を提供するつもりで1年間を送ったわけですが、いかがでしたでしょうか。3分間スピーチもかねたつもりです。ロータリー90余年の歩みをかいまみることができましたことは私にとって大きな収穫でした。

当クラブの五大奉仕委員会の活動につきましては、各委員長さんはじめ委員のご協力により、十分な成果をあげることができたと思っていますが以下に主な活動を列記いたします。

クラブ奉仕委員会は、ロータリー活動の牽引力を果していますが、10の委員会が、それぞれの計画のもと実践していただき、ご苦勞様でした。例会は48回行われ、SAAの食事工夫改善をはじめ、基本とも言える出席率については、95%を越え、目標を達したと思います。ロータリー情報など毎回提出され参考になりました。関係会員ご苦勞さまでした。

また、どこのクラブでも悩んでいる会員増強につきましては、新会員が9名入会し、退会者が4名、このなかには、小林前会長が亡くなられたことは誠に残念でありましたが、結果的に純増5名となり、大きな成果で、増強委員長さんはじめ、関係者に感謝いたします。毎例会をスムーズに、内容のあるプログラムを組んでいただき、楽しく過ごすことができたと思います。プログラム委員会のかげのお力と思っています。

クラブ奉仕委員会での要ともいえる親睦委員長さんはじめ、会員皆様のご苦勞に感謝いたします。夜間例会をはじめ家族会、特に期末懇親会ではいろいろとご配慮いただき、会員の親睦の実を十分あげることができました。ゴルフコンペもおつかれさまでした。

今期の目玉としてすすめてきた「薬物乱用防止キャンペーン活動」につきましては、社会奉仕委員長さんはじめ、関係者のご尽力、会員のご支援

をいただき、十分な成果をあげることができたと思っています。この活動につきましては「R I 広報賞」に推薦手続きを済せています。また、身障者団体への奉仕活動や援助活動を行ってきました。

青少年奉仕委員会での活動は、インターアクト、ローターアクトの地区年次大会への参加、活動の援助、青少年指導者養成セミナー（ライラ）への参加にご協力いただきました会員の皆様大変ご苦労さまでした。

職業奉仕委員会では、鶴巻温泉病院の職場見学を行い、現場で働いておられる職員のご苦労や、これからの高齢化社会に対する老人医療の一端を知ることができ、会員の皆様にも有意義な見学会だったと思います。関係会員ありがとうございました。

国際奉仕委員会の活動へのご協力は米山奨学会の寄付をはじめ、インドの仮設住宅建設プロジェクトへの資金援助や、地域の社会福祉活動等への援助をすすめてきました。

ロータリー財団へは、ベネファクターをはじめ多くの会員の寄付をいただき、その目的を果しました。また G S E への協力や永年にわたり米山留学生に対するカウンセラーをしていただいている森善助会員に敬意を表します。

1 年を通じて行われる分区ごとの I M 大会、地区年次大会、そして次年度へむけての地区協議会に殆どの会員の参加をいただき、ロータリー活動の研鑽を深めていただいたと思っています。

昨今の不透明な時代にあって、ロータリー精神の根本である「奉仕の心」を実践していくことは容易でないことは会員皆様も十分認識されていることではありますが、まもなくむかえようとしている当クラブの創立 30 年にむけて、いっそうのご活躍とご協力をお願い申し上げます。

1 年間大変お世話になり、ご協力をいただき、会長職を大過なく過すことができましたことに、あらためて感謝申し上げ、お礼といたします。

追 記

「薬物乱用防止キャンペーン活動」について、R・I 広報賞を受賞しましたので、次の通りご報告致します。

記

広 報 賞

広報キャンペーンを通じて、ロータリーへの理解、
認識の推進に著しい業績を挙げたことを
たたえ、本賞を贈ります。

グレン W. キンロス RI 会長
岡 本 徳 彌 第2590地区ガバナー

以上

る第 362地区が分割され、当地区は神奈川県 1県となりました。

昭和52年 7月より R I の地区変更により第 259地区となりました。

平成 3年 7月より R I の地区変更により第2590地区となりました。

1 . 会 員 （平成10年 6月30日現在）

(1) 会員の種類

正 会 員 32名

シニア・アクチブ会員 16名

計 48名（内 チャーターメンバー 3名）

(2) 年 令

30才台～ 2名 最高年令 79才

40才台～ 10名 最低年令 33才

50才台～ 12名 平 均 58.4才

60才台～ 16名

70才以上 8名

(3) 現会員で当クラブ会員としての在籍期間

1 年未満 9名

1 ～ 3年 9名

4 ～ 6年 6名

7 ～ 9年 9名

10年以上 15名 平 均 9.2年

2. 例会来客数

例 会 数 48回

来 客 数 ビジター 16名 ゲスト 55名 計 71名

月	例 回 数	ビ ジ タ ー	ゲ ス ト	月	例 回 数	ビ ジ タ ー	ゲ ス ト
7	5	4	9	1	4	1	6
8	3	0	2	2	3	1	4
9	4	1	4	3	4	0	7
10	5	1	11	4	4	2	1
11	4	1	6	5	4	1	3
12	4	1	0	6	4	3	2
小計	25	8	32	小計	23	8	23
例回数 48 ビジター 16 ゲスト 55 計 71 名						累計 3,630 人	

〔入会者〕

村上公夫君	平成 9年 8月 6日	電信電話事業
石川輝久君	平成 9年 9月10日	警備会社
藤田孝次君	平成 9年 9月24日	造園工事業
長根信康君	平成 9年10月22日	推進工事
濱田茂君	平成 9年11月 5日	ホテル
鍋谷忠克君	平成 9年11月12日	精密機械
篠明俊君	平成10年 2月25日	金融業
柴崎恒雄君	平成10年 4月 8日	カーデザイン
高木美治君	平成10年 5月13日	銀行業

〔退会者〕

高橋忠夫君	平成 9年 8月 6日	職務上
小林新一君	平成10年 1月21日	逝去
東根憲一君	平成10年 2月25日	転勤
川合省三君	平成10年 3月25日	転勤

〔歴代会長・幹事及び会員数、出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年 6月迄
昭和45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	秋 田 茂	三 澤 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	高 橋 正 文	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	97.40%	
49～50	鶴 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	浜 田 勝 弥	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	

57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45名	96.31%
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45名	96.27%
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50名	97.83%
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51名	96.96%
63～64	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53名	95.65%
平成 1～ 2	藪 島 五 郎	幸 内 伸 雄	47名	94.68%
2～ 3	近 藤 襄	渡 辺 宏 未	51名	94.54%
3～ 4	幸 内 伸 雄	横 井 好 明	50名	93.68%
4～ 5	遠 藤 真 作	日 高 信 良	44名	92.01%
5～ 6	横 井 好 明	遠 藤 一 典	44名	92.09%
6～ 7	渡 辺 宏 未	井 上 周 輔	47名	92.61%
	横 井 好 明			
7～ 8	中 林 靖	脇 田 幸 一	41名	92.64%
8～ 9	小 林 新 一	金 子 朝 夫	42名	93.20%
9～10	遠 藤 一 典	森 宏	43名	95.40%

[チャーターメンバー] 現会員 3 名

秋 田 茂	昭55. 2.20死去	足 立 英 一	昭46. 9. 1退会
石 川 治 道	昭52. 6.30退会	麻 生 和 衛	昭54.12.26退会
岩 崎 董 正	昭57. 6.30退会	藤 森 茂	昭47. 4. 5退会
小 林 安 雄	平 7. 6.30退会	浜 田 淳太郎	昭48. 1.31退会
小 峰 政 博	昭48.10.20退会	細 辻 文 次	昭47. 6.28退会
	相模原南RCへ	岩 本 正 三	昭63. 7.11死去
中 山 恒三郎	昭60. 4.24退会	松 田 三 郎	昭47. 6. 7退会
柴 田 清	昭48. 4. 4退会	三 橋 英 一	平 4. 3.21死去
鈴 木 憲 一	昭54. 9. 1死去	名 倉 健 二	
土志田 昭 吉	昭54. 8.29退会	富 永 力	平 1.12.30退会
岡 本 健		鵜 川 昇	
志 田 宝	昭47. 1.29退会	吉 田 晴太郎	昭48. 5. 2退会
高 橋 正 文	昭50. 6.26退会		

[本年度地区役員]

鵜 川 昇 君	地区諮問委員会
鵜 川 昇 君	地区指名委員会
須 藤 保 夫 君	地区ローターアクト委員会

[地区大会表彰]

(新マルチプル)

三 澤 君 夫 君	脇 田 幸 一 君
-----------	-----------

(新ボールハリスフェロー)

市 瀬 栄 一 君	加 藤 喜 夫 君
齊 藤 清 紀 君	藤 津 均 君

(新ベネファクター)

遠 藤 一 典 君	斉 藤 晃 君
-----------	---------

活 動 報 告 書

幹 事 森 宏
副幹事 長 沼 博

この一年ロータリアンとして未熟な私が何とか伝統あるクラブの幹事を務めることが出来たのは、遠藤会長のご指導とS A Aはじめ各委員長のご協力に加え全会員の暖かい友情と我慢強い忍耐に支えられたお陰と感謝しております。幹事としてどれ程お役に立てたかは疑問ですが、多くのことを学び沢山の皆さんと出会い、貴重な経験をさせていただき、私の人間性の幅を広める糧となり大変嬉しい充実した一年でした。

さてこの一年を順を追って振り返りますと

※地区協議会 5月25日（日） 横浜商科大学高校において開催されて“クラブ幹事要覧”“クラブ幹事の手引き”の資料を手渡され幹事に選ばれたことを喜び申し上げますと、持ち上げられたこの二冊をマスターすれば、あなたの年度の課題に立派に応えられます。との説明がありましたが、勉強不足で何彼と先輩に実践で教えていただく事柄の方が多く理解も出来ました。

※7月2日 初任時幹事挨拶がございました。
まず雰囲気を感じることからはじめます。

※7月16日 ガバナー公式訪問
岡本ガバナーより沢山のことを学び、遠藤会長のもとで全会員一致協力し、立派なクラブ協議会を無事終了し、まずは第一関門を突破いたしました。

※9月9日 会長のお供をして横浜たまR．Cの例会に出席し、アダム・ニューリン君の面倒を見てくれたお礼に行って参りました。

※10月27日 ひまわりR．Cの認証式に脇田副会長と出席、

於 横浜プリンスホテル

うぶ声を上げたばかりとは思われない気品と風格のあるクラブで、特に会長はご住職とのことで挨拶にも説得力があり感動した。

※ 11月20日 第5分区内会長、幹事、次期会長エレクト会議

於 レストランあかべこ

ほとんど欠席者もなく、松沢第5分区代理の挨拶の後自己紹介にてなごやかな内に宴席進行、次期分区代理 内田照夫（横浜鶴峰 R. C）

※ 1月7日 幹事新年挨拶がございました。

“アッ”と…言う間の上半期でした。虎年にちなみ“虎の子”…大切に
して手元から離さないものの謂れを説明す。残りの半期も微力ですが、
頑張りますので宜しくお願いします。

※ 2月4日 1375回例会は小林前年度会長の突然の逝去をいたみ、生
前の当クラブその功績を感謝して、全員で黙祷し個人を忍んだ。

奥様とご長男より、葬儀のお礼として丁重な挨拶あり。

※ 2月18日 職場訪問 於 鶴巻温泉病院

貴重な時間をさいて病院内の施設の説明や患者のリハビリの状態等見学
し、質疑応答の時間もとっていただき、有意義な職場訪問でした。安心
して老人の仲間入りが出来ます。由緒ある場所での懇親会もなごやかな
雰囲気の中、美味しい食事と呑み物で、心の洗濯も一緒におこないまし
た。

※ 2月21日 於 新横浜プリンスホテル

4、5分区のIMあざみ R. Cの女性会員と各 R. Cのロータリアン多
数出演の創作劇“アナタ、ドナタ様”がとても好評でした。当クラブか
らも1、2名参加すれば尚親密感のあるものになったのでは…

※ 3月28日、29日 地区大会 於 川崎教育文化会館

当クラブより18名参加、形通りのお祭りでした。

朝食会に参加して下さった北原会員、齊藤晃会員、鶴岡会員、武藤会員

社会奉仕

社会奉仕の関係者の皆さんご苦労さんでした。

親 睦 会

この一年全会員に支えられて幹事の役目を終りましたが、S A Aと会員

増強の委員長及委員には、活動計画書通りの好成績を上げていただき有難うございました。

※S A Aは例会前に十分な時間を取り、例会中は私語をなくした。例会運営が実施され会場が、常にこれぞ“ロータリアン”の雰囲気ので会場に活気が漲っておりますので、是非来期にも引継ぎたい。

※会員の増強は5名の純増が目標でしたが、三沢委員長はじめ各委員のご協力により、村上会員、石川会員、藤田会員、長根会員、鍋谷会員、浜田会員、柴崎会員と7名の若い将来有望な会員の加入と横浜銀行の篠支店長とさくら銀行の高木支店長の交替がございました。

※次に理事会ですが、臨時の理事会を含め14回、各月のはじめの例会後に開催しました。各理事より活発なご意見のもと、クラブの懸案事項を細則に則り迅速に決定していただき、クラブ運営に活力を与えていただきました。

理 事 会 議 事 録

第 1回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 7月 2日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
協田幸一、代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

S A A 武藤泰典

3. 議 題

1. 石川輝久さん、橘 勝也さん、難波さん入会の件
2. 興山会員休会の件
3. ガバナー公式訪問食事の件
4. 事務機器（コピー機、F A X、ワープロ）買入の件
5. インターアクトの件
6. クラブ活動目標について 会長話
7. ロータリー財団委員長交替の件
8. その他 親睦委員長 夜間例会 天吉
プログラム委員長 休会日の件
職業奉仕 職場見学の件

第 2回 理 事 会 （臨時）

1. 日 時 平成 9年 7月 23日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、森 一誠、協田幸一
代々木和男

会 計 須藤保夫

S A A 村松勇治

3. 議 題

1. 副会長（会長エレクト）承認の件
2. 高橋会員（N T T）交替承認の件
3. 交換留学生（アダム・ニューリン）の件
4. 米山奨学生（黄金衍）の件
5. その他 小林新一前会長見舞いの件

第 3回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 8月 6日
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
代々木和男
幹 事 森 宏
会 計 須藤保夫
S A A 村松勇治
3. 議 題
 1. 30周年行事の担当理事選任の件
 2. 桐蔭学園甲子園出場お祝いの件
 3. 新会員入会の件（クラブ細則の件）
 4. ガバナー礼状の件
 5. その他

パ ス ト 会 長 会

1. 日 時 平成 9年 8月 20日
2. 出席パスト会長 名倉健二、三澤君夫、山下栄蔵、岡本 健
中林 靖、内野 晃、代々木和男
会 長 遠藤一典
幹 事 森 宏
3. 議 題
 1. 30周年の担当理事について
 2. 新会員と会員増強について

第 4回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年 9月 3日
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
森 一誠、脇田幸一、代々木和男
幹 事 森 宏
会 計 須藤保夫
S A A 村松勇治
3. 議 題
 1. 新会員入会の件

2. 交換留学生（アダム・ニューリン君）諸費用（多摩ロータリーに謝礼）の件
3. その他 会員推薦の細則規定の変更について

第 5回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年10月 1日
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
森 一誠、脇田幸一、代々木和男
幹 事 森 宏
会 計 須藤保夫
S A A 村松勇治
3. 議 題
 1. 平成 9年度共同募金運動への協力の件
 2. “ダメ・ゼッタイ” 普及運動支援募金の件
 3. 新会員の件
 4. その他 米山奨学生の件
長期欠席者の件

第 6回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年11月 5日
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
森 一誠、脇田幸一、代々木和男
幹 事 森 宏
会 計 須藤保夫
S A A 武藤泰典
3. 議 題
 1. 井上会員に年次報告のお礼の件
 2. 薬物乱用防止キャンペーンについて
 3. 年次総会 12月 3日次期理事選出の件
 4. 木の実の会開所式に三澤会員出席の報告
 5. その他

第 7回 理 事 会

1. 日 時 平成 9年12月 3日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、井上周輔、加藤喜夫、森 一誠
脇田幸一、代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

S A A 武藤泰典

3. 議 題

1. 各種表彰プログラムへの応募の件 会長より報告
2. 計算能力向上プロジェクトへの協力依頼の件 一人 1,000円
3. 交換学生候補に関する推薦書の件
4. 地区大会の案
5. その他

第 8回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 1月 7日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、脇田幸一
代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 1999～2000年度国際親善奨学生募集の件
2. ポリオ・プラス活動への寄付協力依頼の件
3. 識字、計算能力向上プロジェクトへの協力依頼の件
4. 横浜青葉インターチェンジ寄付の件
5. その他 地区大会の参加について

第 9回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 2月 4日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、加藤喜夫、森 一誠
脇田幸一、代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

S A A 村松勇治

3. 議 題

1. “創造と森の声” 98アートコンサートへの協賛について
(依頼)
2. 鶴峰 R. C 20周年記念出席と寄付の件
3. 災害用組立トイレ寄贈の件
4. 田中亮二会員休会の件
5. 故小林新一会員の死去により理事の件
6. R財団学友会賛助会送金の件
7. 横浜銀行支店長交替の件
8. その他 インド仮設住宅建設プロジェクトの件
 新会員の件

第10回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 3月 4日
2. 理 事 遠藤一典、市瀬栄一、加藤喜夫、森 一誠、脇田幸一
 代々木和男
- 幹 事 森 宏
- 会 計 須藤保夫
3. 議 題

1. 新入会員の件
2. 瀬島のぞみさんお祝いの件
3. 薬物防止キャンペーン負担金の件
4. その他 バザーの件

第11回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 4月 1日
2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、森 一誠、脇田幸一
- 幹 事 森 宏
- 会 計 須藤保夫
- 会 員 中林会員、三澤会員、山下会員
3. 議 題

1. 30周年記念行事の件

2.その他

第12回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 5月 6日

2. 理 事 遠藤一典、藤津 均、市瀬栄一、井上周輔、加藤喜夫
森 一誠、脇田幸一、代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 横浜田園 R. C 20周年記念お祝金の件

2. 高木美治氏入会の件

3. その他 名誉会員の件

第13回 理 事 会

1. 日 時 平成10年 6月 3日

2. 理 事 遠藤一典、井上周輔、森 一誠、脇田幸一、代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. バザー売上金配分の件

2. 事務職員及びパートの給金の件

3. 長期欠席会員の件

4. 鍋谷会員、休会届の件

5. その他

臨 時 理 事 会

1. 日 時 平成10年 6月24日

2. 理 事 遠藤一典、市瀬栄一、加藤喜夫、森 一誠、脇田幸一
代々木和男

幹 事 森 宏

会 計 須藤保夫

3. 議 題

1. 名誉会員選挙の件

総 会 議 事 録

H 9 . 1 2 . 3 年次総会開催

理事会の前に実施しました。

次年度1998～'99 年度理事は下記の通り選出されました。

遠藤一典、井上周輔、森 宏、森 一誠、長沼 博
大地哲郎、斎藤清紀、脇田幸一、山下栄蔵

S . A . A 報 告

S A A 村松勇治

副 S A A 北原弘文

副 S A A 武藤泰典

会員の皆様の御協力を得まして、円滑に運営することができました。

特に北原、武藤、委員の協力を感謝いたします。無事、予定進行できました御報告を致します。

1. 例会の司会、一週ごと交替に S A A が行います。

2. 例会前に十分な談笑の時間を取り、例会中は落ち着いて、私語をなくした例会運営をめざします。

⇒ 私語の少ない例会運営ができたと思います。

3. テーブル席は、1～2ヶ月単位で変更し、クラブの中にグループをつくらない会員席をめざします。

⇒ テーブル席は、カラーカードにより毎例会変更し、グループを作らない例会席になったと思います。

4. 食事を S A A にゆるされるものなら、月一度節食ランチを設け（おにぎり・サドイッチ程度）の食事にし、クラブの寄付基金に計画をしたい。

⇒ 食事は初めて月1回の節食ランチを実施し、毎回おいしい食事を食べたつもりで500円の寄付を受け、節食分と共にクラブ社会奉仕の基金にできました。御協力感謝致します。

5. 前年好評の食事中的 B G M・誕生祝は、全員でバースデーソングの合唱で祝福します。

⇒ 食事中的 B G M、誕生祝のバースデーソングの合唱で祝福、そして一言と和やかな雰囲気になったと思います。

6. 例会場の喫煙は自由ですが、環境基金にご寄付をお願いします。

7. 例会の順は、点鐘→会長報告→幹事報告→3分間スピーチ→食事（食事中に記念品贈呈、ニコニコ、ニガニガ出席報告）→卓話（1時より）→点鐘で終わります。（正味時間1時間）

⇒例会の進行順と時間管理も計画通り進行できたのではと思っております。

（追）S A Aは現在横浜銀行様、協力での会場の為、食事が大変に問題です。今後のS A A委員のためにも今一度、改善提案と会員の御協力を願う次第です。

クラブ奉仕委員会報告

委員長 脇田幸一

副委員長 斎藤清紀

クラブ奉仕の活動には10の委員会があって、クラブ奉仕委員長はその活動に参加してその活動内容について理事会に報告する、という謂わば潤滑油の役割をするという役目を申しつかって、一年間勤めさせて頂きました。私は余りお役に立たず、それに反して各委員会はとても素晴らしい活動をして頂きましたので、ちょっと苦しい年次報告となりました。素晴らしい活動の成果の報告をして、クラブ奉仕委員長の年次報告と致しまして、各委員会の皆様にお礼を申し上げたいと思います。

出席率について

年度初めの7月から今年の3月迄で、年度の途中ですが、我々のクラブの出席率を調べてみました。メーキャップ期間が2週間となったことも有利に働いているのかも知れませんが、我々緑ロータリー・クラブの出席率は最低の昨年12月でも92.3%、最高は今年の2月、3月の98.0%と高く、常に2590地区の平均をはるかに越しています。出席委員のご努力に厚く御礼申し上げます。

増強について

新会員9名という増強の実績は素晴らしく、地区に誇れる成果と誰もが

認める所であると思われます。ただただ、会員増強委員会、会員選考委員会、職業分類委員会、ロータリー情報委員会の皆様、有り難うございました。

プログラムについて

卓話については

7月23日 河淵 雄さん、12月10日 村上公夫さん、1月14日 石川輝久さん、藤田孝次さん、3月11日 長根信康さん、浜田 茂さん、5月13日 鍋谷忠克さん、篠 明俊さんから卓話をして頂きました。新会員が9名と多く入られましたので、昨年度入会の河淵 雄会員を初めとして篠明俊会員まで、8人の会員から「職業報告」の卓話をいただきました。ロータリー・クラブ本来の意義ある会員の「職業報告」の卓話が多く聞けたというのは有意義なことと思われました。また、外部からの卓話には、美術、音楽、行政に関するものなど興味のもてるものが多くあったと思われます。

雑誌委員会について

「ロータリーの友」について、村上委員長から毎号いい解説を聞けましたので、読む意欲が引き出されたと思われます。

会報について

この稿を書くに当たって改めて読み直して、正確かつ詳細なクラブの活動の記録に関心致しました。有り難うございました。

親睦活動について

7月30日 夜間例会

10月29日 夜間例会

12月17日 X'mas 家族会

4月 8日 家族会

毎回、例年以上に多くの会員、家族の参加があり、ロータリー・クラブの本来の大きな意義の目的が達せられたと思われます。

11月20日 第2590地区の「親睦委員長、クラブ奉仕委員長会議に斉藤親睦委員長と出席致しました。各クラブでの例会運営の実際に関して、また

会費などについて分区代理を交えて話し合いました。例会運営についてはクラブによりかなり違いがあるように思えました。また、例会の会場をホテルなどにしているクラブなどは年会費が我々のクラブより格段と高いところもあって、横浜銀行さんに只で提供してもらっている我々はずいぶんと恵まれていると思われました。ちなみにホテル、レストラン以外で、我々緑ロータリー・クラブのように銀行、その他の企業の会議室などにご厄介になっているクラブは当2590地区の58銀ラブ中10ぐらいしかないのです。同じ日に分区代理主催の第5分区の会長、幹事、次期会長の会議もあり同じような議題で話し合いました。

広報について

活発な広報活動に感謝致します。

5大奉仕活動の中でも最大の委員会を擁する委員長を務めさせて頂き、光栄に存じました。余りにも働きが足りずにお役に立たなかったので申し訳なく思っております。

委員会の皆様、有り難うございました。

出席委員会報告

委員長 田中亮二

副委員長 長沼 博

出席に関するメイクアップの規定がクラブ例会日の前14日または後14日以内と大幅に緩和されたので、当クラブの出席率向上の目標は完全に達成されました。皆様ありがとうございました。

出席計算除外会員13名を除く35名中各月別補正後の出席率 100%以上を続けた会員が19名もおりました。出席はロータリー活動の根幹を形成するものです。これからも出席率向上にご協力下さい。

出席記録

	1	2	3	4	5
1997	例会日付	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に用いた 会員数	出席又はメーク アップした会員数	百分率
7 月	2 日	43	30	28	94
	9 日	43	30	27	90
	16 日	43	30	29	97
	23 日	43	30	27	90
	30 日	43	30	夜間例会	100
				合 計	471
				平均百分率	94.2
8 月	6 日	43	30	30	100
	13 日	43	30	定款による休会	
	20 日	43	30	28	94
	27 日	43	30	27	90
				合 計	284
				平均百分率	94.8
9 月	3 日	43	31	30	96
	10 日	44	32	32	100
	17 日	44	32	31	96
	24 日	45	33	26	87
				合 計	379
				平均百分率	94.75
10 月	1 日	45	33	30	91
	8 日	45	33	職場見学	100
	15 日	46	34	29	85
	22 日	46	34	30	88
	29 日	46	34	夜間例会	100
				合 計	464
				平均百分率	92.8
11 月	5 日	47	35	46	97
	12 日	48	36	44	92
	19 日	48	36	45	94
	26 日	48	36	44	92
				合 計	375
				平均百分率	94
12 月	3 日	48	36	33	92
	10 日	48	36	クリスマス会	86
	17 日	48	36	29	100
	24 日	48	36	33	92
	31 日	48	36	定款による休会	
				合 計	370
				平均百分率	92.5

出席記録

	1 例会日付	2 会員総数 (名誉会員を除く)	3 出席計算に用いた 会員数	4 出席又はメーク アップした会員数	5 百分率
1998					
1 月	7 日	48	36	34	95
	14 日	48	36	34	95
	21 日	48	36	36	100
	28 日	47	36	35	100
				合 計	390
2 月				平均百分率	97.5
	4 日	47	36	34	94
	11 日	47	36	祝日	
	18 日	47	36	職場見学	100
	25 日	47	36	36	100
3 月				合 計	294
				平均百分率	98
	4 日	47	35	34	97
	11 日	47	35	35	100
	18 日	47	35	35	100
	25 日	47	35	34	97
4 月					
				合 計	394
				平均百分率	98
	1 日	47	35	32	92
	8 日	48	36	33	94
	15 日	48	36	29	83
5 月	22 日	48	36	34	97
	29 日	48	36	祝日	
				合 計	366
				平均百分率	92
6 月	6 日	48	36	33	92
	13 日	48	36	35	97
	20 日	48	36	35	97
	27 日	48	36	36	100
				合 計	386
7 月				平均百分率	96.5
	3 日	48	36	32	89
	10 日	48	36	33	92
	17 日	48	36	期末旅行	100
	24 日	48	36	32	89
8 月				合 計	370
				平均百分率	92.5

職業分類委員会報告

委員長 ①中林 靖
副委員長 ②小林新一
(逝去、H10 年1 月)
委員 ③森 善助

当初クラブ分類表は、開放90に対し充填27、未充填63、シニアアクチブ16という分類であったが、今年度は多数の会員が入会し年度末には、開放94で充填32、未充填62、シニアアクチブ16の分類になった。

親睦活動委員会報告

委員長 齊藤清紀
副委員長 小林照二
委員 岩崎恒雄 斎藤 晃
須藤保夫 河淵 雄 黒沼正雄
東根憲一 村上公夫

◎ 夜間例会（2回）

①平成 9年 7月30日 関内「天吉」

出席者 29名

[会員27名、アダム君、山崎さん（多摩RC）]

②平成 9年10月29日 中山「台村ばやし」

出席者 28名

◎ クリスマス家族会

平成 9年12月17日 新横浜プリンスホテル「セレナーデ」

出席者 56名 [会員35名、家族その他21名]

◎ 家族会

平成10年 4月 8日 ロイヤルパークホテル日航「シリウス」

出席者 51名 [会員32名、夫人19名]

◎ 期末懇親会

平成10年 6月17日 箱根湯本「河鹿荘」
出席者 32名

◎ ゴルフコンペ（4回）

平成 9年 9月 4日 U R A K Uゴルフクラブ御殿場
平成 9年12月 4日 新沼津カントリークラブ
平成10年 4月16日 相模原ゴルフクラブ
平成10年 6月18日 箱根カントリー倶楽部

「会員相互の友情をより深める」ことを目的として、スタートした一年でした。会員各位にはそれぞれの事業に積極的にご参加頂き有り難うございました。カレンダーの関係で夜間例会が2回と少なく残念でしたが、中身の濃い一年だったように思います。この友情を次年度にもつなげていきたいと存じます。

雑誌委員会報告

委員長 村上公夫
副委員長 鶴岡 武

毎月、「ロータリーの友」の会員に是非読んでいただきたい記事について、雑誌配布日例会において委員が交代で事前に読んでおき、例会当日に記事紹介を実施いたしました。

委員の興味のある記事の紹介となったことから反省点もありますが、「ロータリーの友」に目を通していただく機会が増えたのではと思っております。また、一読後の「ロータリーの友」誌をロビー等に置き会員以外の方にも読んでいただけるようにしている会員がおります。

R CのP R手段として、今後全会員が会員以外の人目にふれる場所に一読後の「ロータリーの友」誌を是非置いていただければと思っております。

会報委員会報告

委員長 大地哲郎
副委員長 北原弘文
委員 興山正三郎

クラブ活動の充実発展、及びロータリー教育への寄与を考慮して発行する目的であったが残念ながら十分目的は達せられなかった。

見やすい会報をめざし、写真を積極的に利用したが、発行経費の点で問題であった。

また、卓話等の内容の原稿を容易にいただける体制が出来ていれば、原稿のテープおこしを少しでも減少でき、経費節約が可能であった。

次年度の会報委員の方よりしくお願いいたします。

しかし、第1号を発行してから最終号の48号を手にした時、1年間という時間を感じ会報から解放されるという、えも言われぬ開放感を感じた。

会員選考委員会報告

委員長 代々木和男
副委員長 内野 晃
委員 小林新一

選考に際し初期に掲げた基準に従って努力した。被推薦者には例会へのゲスト出席を求めて事前面接を実行した。

実績 新会員 9名 （うち交替会員3名）

会員増強委員会報告

委員長 三澤君夫
副委員長 森 善助
委員 山下栄蔵
中林 靖 井上周輔
鶴川 昇

②経済情勢の厳しい中、委員並びに会員皆様のご協力により目標数5名＋1名 計6名の新会員の加入を達成することが出来ました。ご協力感謝いたします。新会員名以下の通りです。 ①長根信康 ②浜田 茂
③藤田孝次 ④石川輝久 ⑤鍋谷忠克 ⑥柴崎恒雄

①会員死亡 1名 退会者 2名 は誠に残念です。

③平均年齢は期首59.5才 期末58.5才 です。

以上要約しますと今期当委員会の活動は良好ではなかったかと思わします。

プログラム委員会報告

委員長 武藤泰典
副委員長 森 一誠

会員皆様が、例会を楽しみに、出席していただける様、一年間のプログラムを組んでみたつもりでしたが、いかがでしたでしょうか。

会員皆様のご協力によって、広範囲の分野から卓話者を紹介していただき、興味深い、色々な卓話を聞かせていただき、プログラム委員長としての責任を果たせたと思います。

皆様方に改めて深く感謝申し上げます。

1997年～1998年度(平成9年～平成10年)

	クラブ'アッセンブリー	クラブ'アッセンブリー		クラブ'アッセンブリー		
週\月	平成9年7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1週	2日 新会長 新幹事 就任挨拶 (定例理事会)	6日 会員増強に について (三澤会員) (定例理事会)	3日 社会奉仕に ついて (森(一)会員) (定例理事会)	1日 米山月間に ついて (芳野敦志様) (定例理事会)	5日 ロータリー財団に ついて (斎藤(晃)会員) (定例理事会)	3日 国際奉仕に ついての ビデオ鑑賞 (定例理事会)
第2週	9日 新年度計画 四大奉仕 委員長	13日 夏休み 休会	10日 ロータリー情報に ついて (山下会員)	8日 職場見学 横浜歴史 博物館	12日 フランスの現代 音楽について (三浦則子様)	10日 職業報告 (村上会員, 斎藤(清)会員)
第3週	16日 ガバナー 公式訪問	20日 お酒の話 (鶴田順子様)	17日 青少年活動に ついて (市瀬会員他)	15日 孫文の話 (藤村久雄様)	19日 ロータリー財団 学友について (小西 大様)	17日 クリスマス家族会 於 新横浜 プリンスホテル
第4週	23日 職業報告 (川淵会員)	27日 クラブ'フォーラム 30周年行事に ついて (名倉会員他)	24日 サッカーと社会 (李 国秀様)	22日 薬物濫用の 実態について (由井省次様)	26日 クラブ'フォーラム ロータリー情報に ついて (山下会員)	24日 最近の治安 情勢について (陣 昭二様)
第5週	30日 夜間例会 於 天吉			29日 夜間例会 於 台村ばやし		31日 休会
年間行事	ガバナー訪問	会員増強月間	青少年 活動月間 ゴルフ同好会	米山月間 職業奉仕月間	ロータリー財団月間 インターアクト ロータリーアクト 年次大会 ゴルフ同好会	定期総会 クリスマス家族会

横浜緑RC年間プログラム表

	クラブ'アッセンブリー	クラブ'アッセンブリー			クラブ'アッセンブリー	
週\月	平成10年1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1週	7日 会長 幹事 新年の挨拶 (定例理事会)	4日 世界理解月間 について (山下会員) (定例理事会)	4日 ドイツ留学 帰国報告 (瀬島のぞみ様) (定例理事会)	1日 雑誌月間に ついて (村上会員) (定例理事会)	6日 健康管理に ついて (岡村知彦様) (定例理事会)	3日 次年度計画に ついて (脇田会員) (市瀬会員) (定例理事会)
第2週	14日 職業報告 (石川会員) (藤田会員)	11日 休会	11日 職業報告 (長根会員) (濱田会員)	8日 春の家族会 於 ニッコウホテル	13日 職業報告 (鍋谷会員) (篠 会員)	10日 次年度計画に ついて (五大奉仕 委員長)
第3週	21日 ロータリー情報に ついて (山下会員)	18日 職場見学 鶴巻温泉病院	18日 日本酒雑学 (大谷弘義様)	15日 出席について (長沼会員)	20日 ビデオ鑑賞 「あなた、 どなた様」	17日 期末懇親会 於 河鹿荘
第4週	28日 ロータリー理解 推進月間に ついて (中林会員)	25日 クラブ'創立 記念日に ちなんで (三澤会員)	25日 中小企業の 経営と国際化 (正木康彦様)	22日 クラブ'フォーラム 30周年記念 行事について (三澤会員)	27日 一年を省みて (加藤会員) (森(一)会員)	24日 会期終了挨拶 (遠藤会員) (森(宏)会員)
第5週				29日 休会		
年間行事	ロータリー理解 推進月間	世界理解月間 RI創立記念日 (23日) クラブ'創立 記念日 (23日)	地区大会	雑誌月間 ゴルフ同好会	地区協議会	期末懇親会 国際大会 ゴルフ同好会

ロータリー情報委員会報告

委員長 ①山下栄蔵

副委員長 ②岡本 健

委員 ③名倉健二

活動計画にもとづいて、プログラム委員会にお願いし、例会の際卓話の時間をロータリー情報委員会に提供願って、ロータリーの歴史と、経過の説明、手続要覧より引用して出席の意義其他の説明、ロータリー情報集等より引用して、ロータリークラブ活動についての説明をし、質疑も実施致しました。

尚、会長がロータリー情報に関する話を、例会の際会長報告の中で少ない時間ではありましたが話してもらえたことは、情報委員会として助かりました。

広報委員会報告

委員長 高嶋経保

副委員長 斉藤 晃

委員 近藤 襄

地域社会の皆様に、当クラブの奉仕活動を地元の機関紙や種々の組織を通じて広報を行いました。

今年は特に青少年の犯罪の増加、とりわけ薬害に対する対策として、社会奉仕委員会と共に、小・中学生から募集したポスター・標語の掲示、チャリティーバザーの広報等を行った。

しかしながら、活動計画の内容には及ばず反省することが多々ありました。

社会奉仕委員会報告

委員長 森 一誠
副委員長 土志田猛
委員 矢島誠治

今年度は、当ロータリーと緑警察及び青葉警察ならびに、緑区学校警察連絡協議会及び青葉区学校警察連絡協議会のもと、薬物乱用ポスターを1000枚作成して両区に配布致しました。

また、バザーを開催致しました。そのうちより¥100,000 を緑区肢体不自由児友の会へ寄付を致しました。

ポスター代金	¥ 553,350
生徒への図書券代	¥ 43,000
会員より徴収代	¥ 390,000
	¥ 120,350 (クラブ負担)

バザー売上 (寄付含む)	¥ 167,700
緑区肢体不自由児の会寄付	¥ 100,000
	¥ 67,700 (残)

予算 ¥ 300,000 - ¥ 120,350 = 残 ¥ 179,650 + ¥ 67,700

繰越残 ¥ 247,350 です。

次年度に上記のとおり活動費を繰越しましたので宜しくお願い申し上げます。

青少年奉仕委員会報告

委員長 市瀬栄一
副委員長 川井省三

活動計画書で申し上げましたが、米国に比べて我国の中高生はボランティア活動に参加する機会が少ないと聞いております。

それは我々大人がボランティア活動に積極的に参加していないことだと思います。インターアクト ローターアクト ライラ 青少年交換等に各委員長に出来る限り参加していただくようお願い致しましたが、各々の活動にはまだまだ解決しなくてはならない諸問題があります。ロータリアンが青少年の活動に参加するだけでなく、具体的な提案をして指導しなくてはだめだと参加してみても痛感致しました。特にローターアクトに対しての支援強化と拡大に力を入れるべきと思います。

具体的な活動報告に関しては各担当委員より報告いただきます。

青少年委員会報告

委員長 齊藤宏一
副委員長 黒沼正雄
委員 大地哲郎

クラブ活動計画書にも書きましたが、青少年の問題を解く鍵として、8月20日～21日緑区肢体不自由児者父母の会の夏期研修一泊旅行に、社会奉仕委員長 森 一誠氏、青少年奉仕委員長 市瀬栄一氏、それと私の三人で参加致しました。場所は伊豆、熱川の次郎おさるランド、翌21日はガラス美術工芸館の見学、伊豆高原の散策等でした。肢体不自由児に対する親の愛情のあり方、子供の親に対する信頼は、本当に心打たれるものがあり、常に思っている事です、こういう風景を青少年の方々に触れさせ、生きる事の本質を理解していただけたらと思います。

なお R Y L A に関しては、体の具合を悪くし、出席できず、委員の大地氏及び河淵氏のお世話になり、無事に出来ました事を、厚く感謝致しております。

インターアクト委員会報告

委員長 岩崎恒雄

副委員長 河淵 雄

青少年の健全な精神の育成は重要な問題である。我がインターアクトの生徒は先生の指導を守り活動、態度も良く、この様に今後も努めてくれればと思う。

実行行事は下記の通り。

- (1) 横浜隼人高等学校の第 300回インターアクトクラブ年次大会に参加
平成 9年11月16日
- (2) 聖光学院インターアクト設立
平成10年 2月22日
- (3) インターアクトクラブ海外研修
大韓民国 ソウル市
平成 9年 8月23日（土）～27日（水）

ローターアクト委員会報告

委員長 鶴岡 武

副委員長 小林照二

年初の活動計画も掛け声のみに終わってしまった。実際の活動としては10月桐蔭横浜大学 R A C を中林地区委員と訪問したが、例会日を学生が勝手に変更しており学生は勿論担任の先生も不在で会えなかった。

11月2590地区 R A 第28回地区年次大会へ会長、地区委員と一緒に出席する。当クラブはスポンサーにて遠藤会長が、来賓の紹介と歓迎の辞を述べる。この時初めてローターアクトソングを歌う。

他は総て中林地区 R A 委員にお任せとなり、活動らしい事は殆どなかったが、下記に関して認識を新たにした。

R A C は少なく且つ会員数も不足している。2590地区には多くの大学有りながら、校内に R A C が有るのは桐蔭横浜大学のみである。

職業奉仕委員会報告

委員長 加藤喜夫
副委員長 田中亮二
委員 名倉健二

他人に奉仕するためにいかに生きるか、という目標に向かって今期実行できた事は、前期の横浜歴史博物館の見学。これによって横浜と現在生活している緑区の古い歴史を学びました。

後期には鶴巻温泉病院の職場見学ができました。すでに入っている高齢化社会に向かって、自分自身の老後をどう生きるかということに参加された会員の皆様に考えていただきました。

皆様の御協力で委員会の仕事を無事に考えられたことを感謝致します。

国際奉仕委員会報告

委員長 藤津 均
副委員長 関口将実
委員 内野 晃

1. インド（第3160地区）の恵まれない家族のためにシェルター（低価格の仮設住宅）を10軒建設する人道的プロジェクトを支援するために、米価400ドル（52,000円）を寄付しました。

2. 識字・計算能力向上プロジェクトへ協力した。

①金銭援助

会員1人あたり1,000円とし46,000円を送金した。

②物品援助

書き損じはがき・テレカ・外貨（コイン）を送りました。

3. 有識者に卓話をお願いし、有意義な時間をもてた。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 土志田 猛
副委員長 斉藤 宏一
委員 横井 好明

活動計画にのっとり努力いたしました。しかし、目に見える成果は出ていません。次の委員長及び委員に引継ぎお願いします。とても1クラブでは重荷です。

ロータリー財団委員会報告

委員長 斎藤 晃
副委員長 関口 将実

地区が要望する財団寄付額1人当\$110を目標に協力いただき有り難うございました。

ここに下記の如く現況を記載し年次報告と致します。

有り難うございました。

ロータリーレート 日本円

①今年度寄付 5430ドル×117円＝635,310円

内訳 R財団寄付 3430ドル

ベネファクター 2000ドル

寄付者 48名中 32名

1人当寄付 113.2ドル

創立～1998年6月末 R財団寄付 149893.8ドル

(内本年度分 5430ドル)

②新ベネファクター 2名 遠藤一典 斎藤 晃

③新マルチプル 2名 三澤君夫 脇田幸一

④新ボールハリスフェロー 3名 市瀬栄一 加藤喜夫 斉藤清紀

⑤現会員ベネファクター 9名 三澤君夫 名倉健二 森 善助

内野 晃	中林 靖	岡本 健
山下栄蔵	遠藤一典	斎藤 晃

⑥ 現会員ポールハリスフェロー 25名

(マルチプルを含む)

土志田 猛	遠藤一典	井上周輔	近藤 襄㊟	高嶋経保
三澤君夫㊟	森 善助㊟	長沼 博	中林 靖㊟	岡本 健
名倉健二	斉藤宏一㊟	鶴川 昇㊟	脇田幸一㊟	田中亮二
矢島誠二㊟	横井好明	藤津 均	代々木和男㊟	
内野 晃㊟	武藤泰典	市瀬栄一	加藤喜夫	斉藤清紀

⑦ 現会員準フェロー 上記以外全会員

⑧ 元会員及び会員夫人ポールハリスフェロー

赤柄忠昭	遠藤真作	古谷英太郎	浜田勝弥	日高信良
堀井基章	石川治道	岩本正三	岩岡 正	岩崎基正
岩崎堯正	金子朝夫	加藤勇夫	小林はま子	小林 敬
小林安雄	島田幸夫	城田昭次	鈴木憲一	高橋正文
田辺政雄	田辺しげ子	田中克己	田辺文衛	寺崎誠三
戸田裕也	戸田 修	富永 力	土志田昭吉	和田 功
鶴川楊子	渡辺宏末	藪島五郎	山口吉蔵	幸内伸雄
黒沢 保	松田 税	三橋栄一	森 実	森 玉江
武藤純子	武藤勝典	武藤松一	武藤義一	長瀬正作
中村彰宏	中山礼子	中山恒三郎	小林新一	

(順 不 同)

⑨ 元会員ベネファクター

小林新一

米山奨学委員会活動報告

委 員 長 岡本 健

副委員長 高嶋経保

当委員会の寄付額は当初の予想を上回った事は皆様の御協力のたまものです。感謝申し上げます御報告致します。

①今年度クラブ寄付

米山寄付	810,000円
米山CY奨学金（黄金衍君）	450,000円
計	1,260,000円

②新米山功労者 なし

新米山ファンドフェロー 3名 遠藤一典 藤津 均 市瀬栄一

③今回始めて寄付された方 5名

☆今期 1997年 7月～1998年 6月

普通寄付	227,500 円	{	上期	$2,500 \times 43 = 107,500$
特別寄付	1,260,000 円		下期	$2,500 \times 48 = 120,000$

☆創立～1998年 6月までの累計

普通寄付	3,778,000 円
特別寄付	19,526,000 円 （第19回米山功労クラブ）
計	23,304,000 円

◎米山功労者

会 員	土志田 猛	三澤君夫	森 善助	高嶋経保
	内野 晃	鶴川 昇	代々木和男	
	近藤 襄	横井好明	岡本 健	中林 靖
	山下栄蔵	矢島誠治		

元会員 (敬称略)	秋田 茂	岩岡 正	武藤松一	長瀬正作
	田辺政雄	和田 功	富永 力	飯塚金次郎
	城田昭次	幸内伸雄	飯田重雄	小林安雄
	松田 税	金子朝夫		

◎米山準功労者

全会員

会員外 小林ハマ子様 内野陽子様

1997～1998年度 決算状況

(平成9年7月～平成10年6月)

幹 事 森 宏
会 計 須藤保夫

1. 一般会計

[収入の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
年 会 費	10,557,000	10,557,000	0	
入 会 金	200,000	600,000	-400,000	
雑 収 入	50,000	52,716	-2,716	
前期繰越金	1,950,000	2,300,405	-350,405	
収 入 合 計	12,757,000	13,510,121	-753,121	

[支出の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
本部会計				
人頭分担金	195,000	205,687	-10,687	
地区分担金	1,178,000	1,168,550	9,450	
地区大会分担金	184,000	168,000	16,000	
地区大会登録料	760,000	584,000	176,000	
I・M	460,000	480,000	-20,000	
地区協議会	140,000	234,000	-94,000	
米山奨学金	230,000	297,500	-67,500	
合 計	3,147,000	3,137,737	9,263	
総務関係				
例 会 費	300,000	254,717	45,283	
記 念 品	400,000	453,225	-53,225	
通 信 費	150,000	160,952	-10,952	
消 耗 品	150,000	379,969	-229,969	
印 刷 費	1,200,000	1,079,459	120,541	
事務委託費	2,180,000	2,190,000	-10,000	
備 品 費	50,000	264,117	-214,117	
交 際 費	200,000	376,000	-176,000	
雑誌文献費	130,000	221,291	-91,291	
慶 弔 費	50,000	106,750	-56,750	
予 備 費	200,000	0	200,000	
特別積立金	200,000	200,000	0	
合 計	5,210,000	5,686,480	-476,480	
委員会関係				
出 席	10,000	0	10,000	
職業分類	10,000	0	10,000	
親 睦	600,000	152,191	447,809	
雑 誌	10,000	0	10,000	
会 報	1,200,000	1,349,670	-149,670	
会員選考	10,000	0	10,000	
会員増強	10,000	0	10,000	
プログラム	200,000	230,000	-30,000	
R 情 報	10,000	0	10,000	
S. A. A	200,000	124,893	75,107	
広 報	100,000	102,500	-2,500	
予 備 費	50,000	0	50,000	
合 計	2,410,000	1,959,254	450,746	
支 出 合 計	10,767,000	10,783,471	-16,471	
次期繰越金	1,990,000	2,726,650	-736,650	

2. 特別会計(食事の部)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
年 会 費	1,863,000	1,863,000	0	
ビジター登録料	50,000	45,000	5,000	
前期繰越金	0	19,593	-19,593	
合 計	1,913,000	1,927,593	-14,593	

[支出の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
例会食事代	1,613,000	1,947,290	-334,290	
予 備 費	300,000	0	300,000	
合 計	1,913,000	1,947,290	-34,290	
次期繰越金	0	-19,697	19,697	

3. 特別会計(奉仕の部)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
スマイル	500,000	982,091	-482,091	
前期繰越金	1,350,000	1,448,692	-98,692	
合 計	1,850,000	2,430,783	-580,783	

[支出の部]

科 目	予 算	決 算 額	余 剰 金	備 考
職 業 奉 仕	50,000	89,500	-39,500	
社 会 奉 仕	300,000	54,270	245,730	
青 少 年	200,000	65,000	135,000	
インターアクト	300,000	301,000	-1,000	
ローターアクト	200,000	200,000	0	
国 際 奉 仕	50,000	87,400	-37,400	
世界社会奉仕	50,000	52,000	-2,000	
ロータリー財団	50,000	24,000	26,000	
奨学生受入支出	200,000	0	200,000	
その他予備費	100,000	0	100,000	
合 計	1,500,000	873,170	626,830	
次期繰越金	350,000	1,557,613	-1,207,613	

平成9年度 決算集計表

収 入			支 出		
一 般 会 計			一 般 会 計		
科 目	予 算	決 算 額	科 目	予 算	決 算 額
年 会 費	10,557,000	10,557,000	本 部 会 計	3,147,000	3,137,737
入 会 金	200,000	600,000	総 務 関 係	5,210,000	5,686,480
雑 収 入	50,000	52,716	委 員 会 関 係	2,410,000	1,959,254
前期繰越金	1,950,000	2,300,405	次 期 繰 越 金	1,990,000	2,726,650
計	12,757,000	13,510,121	計	12,757,000	13,510,121
特 別 会 計			特 別 会 計		
科 目	予 算	決 算 額	科 目	予 算	決 算 額
年 会 費	1,863,000	1,863,000	例会食事代	1,613,000	1,947,290
ビジター登録料	50,000	45,000	予 備 費	300,000	0
前期繰越金	0	19,593	次 期 繰 越 金	0	-19,697
計	1,913,000	1,927,593	計	1,913,000	1,927,593
スマイル他	500,000	982,091	奉 仕 活 動	1,200,000	873,170
前期繰越金	1,350,000	1,448,692	奨 学 生 関 係	200,000	0
			予 備 費	100,000	0
			次 期 繰 越 金	350,000	1,557,613
計	1,850,000	2,430,783	計	1,850,000	2,430,783
総 合 計	16,520,000	17,868,497	総 合 計	16,520,000	17,868,497

※ 繰越金増加額

495,876

横浜緑ロータリークラブ組織表

1997~1998年度(平成9年~平成10年度)

28

1. 理事 遠藤一典 藤津 均 市瀬栄一 井上周輔 加藤喜夫
小林新一 森 一誠 脇田幸一 代々木和男

2. 役員 会長 遠藤一典 副会長 井上周輔
(会長以外)
副会長 小林新一
副会長 代々木和男
幹事 森 宏 副幹事 長沼 博
S A A 村松勇治 副S A A 北原弘文
副S A A 武藤泰典
会計 須藤保夫 副会計 東根憲一

3. 委員会(○印:委員長 ○印:副委員長)

(A) クラブ奉仕委員会(担当理事) ○脇田幸一 ○斎藤清紀

1. 出席委員会 ○田中亮二 ○長沼 博

2. 職業分類委員会 ○①中林 靖 ○②小林新一 ③森 善助

3. 親睦活動委員会 ○斎藤清紀 ○小林照二 岩崎恒雄 齋藤 晃
黒沼正雄 東根憲一 高橋忠男 須藤保夫
河淵 雄

4. 雑誌委員会 ○高橋忠男 ○北原弘文 興山正三郎

5. 会報委員会 ○大地哲郎 ○森 善助 藤津 均

6. 会員選考委員会 ○代々木和男 ○内野 晃 小林新一

7. 会員増強委員会 ○三澤君夫 ○森 善助 鶴川 昇 中林 靖
山下栄蔵 井上周輔

8. プログラム委員会 ○武藤泰典 ○森 一誠 川井省三

9. ロータリー情報委員会 ○①山下栄蔵 ○②岡本 健 ③名倉健二

10. 広報委員会 ○高嶋経保 ○齋藤 晃 近藤 襄

(B) 社会奉仕委員会(担当理事) ○森 一誠 ○土志田猛 矢島誠治

(C) 青少年奉仕委員会(担当理事) ○市瀬栄一 ○川井省三 興山正三郎

1. 青少年委員会 ○斉藤宏一 ○黒沼正雄 大地哲郎

2. インターアクト委員会 ○岩崎恒雄 ○河淵 雄

3. ローターアクト委員会 ○鶴岡 武 ○小林照二

(D) 職業奉仕委員会(担当理事) ○加藤喜夫 ○田中亮二 名倉健二

(E) 国際奉仕委員会(担当理事) ○藤津 均 ○関口将実 内野 晃

1. 世界社会奉仕委員会 ○土志田猛 ○斉藤宏一 横井好明

2. ロータリー財団委員会 ○齋藤 晃 ○関口将実

3. 米山奨学委員会 ○岡本 健 ○高嶋経保

——地区役員——

鶴川 昇 地区諮問委員会・地区指名委員会
中林 靖 ローターアクト委員会

備 品 目 録

品 名	数量	品 名	数量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	12
クラブ旗	2	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ピン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テーブ・レコーダー	1	ナブキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗（さお共）	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印（角）	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛（各クラブのバナー共）	2	書類棚（W 90 × H 180）	2
バナー立て	13	冷蔵庫ナショナル NRB8M3	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
カ メ ラ	1	漆谷RCから点鐘台（大邱松林RC）	1
黒 板	1	〃 記念楯	1
アクリル名札板	1	R I C O P Y F T 4060	1
F A X ・ コ ピ ー 機 富士ゼロックス ABLE3221 No.872156	1	電気ポット	3
		2穴スクリューパンチ	1
C D プ レ イ ヤ ー	1	事務用回転椅子	1
応接セット 5点	1	携帯用ロータリーの鐘とハンマー	2
ワープロ NEC文豪	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

平成10年6月30日現在

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
医 術	内 科 医			
	循 環 器 科 医			
	外 科 医			
	小 児 科 医			
	産 婦 人 科 医			
	歯 科 医			
	口 腔 外 科 医	田 中 亮 二	田 中 歯 科 医 院	院 長
	整 形 外 科 医			
	耳 鼻 咽 喉 科 医			
	眼 科 医	藤 津 均	フジ眼科歯科クリニック	院 長
	歯 科 矯 正 医	加 藤 喜 夫	愛誠歯科医	院 長
	麻 酔 科 医			
施 設 及 び 病 院	病 院	大 地 哲 郎	横浜新緑病院	副 理 事 長
	専 門 病 院	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医	院 長
	薬 局			
保 険	保 険 代 理 業	北 原 弘 文	ソニー生命保険㈱	ファイナンシャルプランナー
衛 生	ク リ ー ニ ン グ 店			
	洋 品 店			
	洋 服 店			
衣 料	呉 服 店	岩 崎 恒 雄	㈱岩崎呉服店	代 表 取 締 役

関連	職業分類		種類	会員名	勤務先	役職名
	連	分				
食品及び嗜好品	レストラン	店	Restaurant			
	菓子店	店	Cake Shop			
	酒屋	店	Alcoholic Store			
日用品	スーパー	店	Super Market			
	文具	店	Stationery			
	幼稚園	園	Kindergarten			
教育	高等学校	校	Senior High School			
	短期大学	学	Sumier College			
	私立塾	塾	Praivate School			
	弁護士	士	Lawyer			
ビジネスサービス	税理士	士	Tax Service	長沼博	長沼博税理士事務所	所長
	司法書士	士	Judiciary Scribner Service			
	経営相談	談	Business Counseling Service	須藤保夫	有須藤企画	代表取締役
	測量士	士	Surveyor			
	仏教	教	Buddhism	齊藤清紀	福聚院	副住職
運輸及び倉庫業	神道	道	Shintoism			
	運送業	業	Trucking Service			
	倉庫業	業	Storage			
機械及び装置	送風機	製造	Blower Mfg	武藤泰典	㈱武藤電機	代表取締役
	建設機械	械	Construction Machinery			
	機械工具	具	Machine & Tool	関口将美	㈱関口金物	専務取締役
	非鉄金属製錬	錬	Nonferrous Metals Refining	鶴岡武	アジア物性材料㈱	代表取締役
	精密機械	械	Precision Machinery	鍋谷忠克	㈱リード	社長

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
鉄 及 び 金 属	板 金 工 作			
	金 型 製 造			
自 動 車	自 動 車 販 売			
	自 動 車 整 備	小林 照二	㈱プラザーモーターズ	代 表 取 締 役
電 気 及 び 通 信	カ ー デ ザ イ ン	柴 崎 恒 雄	㈱シバックス	取 締 役 会 長
	電 気 事 業			
電 子 機 器	電 話 事 業	村 上 公 夫	NTT中山支店	支 店 長
	情 報 通 信			
印 刷 及 び 広 告	電 子 試 験 機	川 淵 雄	新電子工業㈱	代 表 取 締 役
	書 籍 販 売			
美 容 及 び 整 形	広 告 業			
	印 刷			
ホ テ ル 及 び 観 光	新 聞 配 付			
	看 板 広 告			
建 設	理 容			
	美 容 院			
建 設	ホ テ ル	濱 田 茂	㈱パストラル	専 務 取 締 役
	旅 行 斡 旋 業			
建 設	建 設 請 負 業			
	木 造 建 築			
建 設	ビ ル 建 築			
	土 木 工 事			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
建 設	舗 装 工 事			
	建 築 リ フ ォ ー ム	市 瀬 栄 一	㈱不二建	代 表 取 締 役
	電 気 工 事	村 松 勇 治	㈱ジェス	代 表 取 締 役
	水 道 工 事			
	鉄 道 建 設	森 宏	森建設㈱	代 表 取 締 役
	設 備 工 事			
	型 枠 工 事	興 山 正 三 郎	㈱興山建設	代 表 取 締 役
	塗 装 工 事			
	建 築 設 計	井 上 周 輔	誠和技建工業㈱	代 表 取 締 役
	造 園 業	藤 田 孝 次	㈱三橋緑化興業	社 長
建 築 材 料 及 び 装 飾 内 装	推 進 工 事	長 根 信 康	㈱ナガネ	代 表 取 締 役 社 長
	建 築 材 料	黒 沼 正 雄	黒沼木材㈱	代 表 取 締 役
	生 コ ン 配 布			
	家 具 室 内 装 飾	森 一 誠	㈱宮地	代 表 取 締 役
	ガ ス ・ プ ロ パ ン			
不 動 産	不 動 産 業	齋 藤 晃	㈱八廣	代 表 取 締 役
	ビ ル 賃 貸			
	土 地 賃 貸			
農 林 及 び 園 芸	農 業			
	木 材 販 売			
畜 産	飼 料			
	獣 医			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
金 融	都市銀行	高 木 美 治	さくら銀行青葉台支店	支 店 長
	地方銀行	篠 明 俊	横浜銀行中山支店	支 店 長
	外国為替銀行			
	信用金庫			
ス ポ ー ツ 及 ビ レ ク リ エ ー シ ョ ン	ゴルフ練習場			
	ペットシヨップ			
	警備保障	石 川 輝 久	株式会社ジェイ・エム・ティサービス	顧 問

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類	会 員 名	勤 務 先	役 職 名
高 等 学 校	鶴川 昇	桐蔭学園	理 事 長
履 帯	名 倉 健 二	㈱東京リンク製作所	相 談 役
不 動 産 賃 貸	森 善 助	モリ・ランド	代 表 者
ボ ー リ ン グ 場	三 澤 君 夫	三澤(合資)	代 表 者
銃 器	岡 本 健	ミロク機械㈱	代 表 取 締 役
建 設 機 械	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取 締 役 社 長
外 科 医	内 野 晃	内野医院	院 長
建 設 材 料	代々木 和男	㈱代々木商店	取 締 役 社 長
アスファルト製品	中 林 靖	日本舗材㈱	取 締 役 社 長
ビ ル 賃 貸	矢 島 誠 治	㈱矢島ビルディング	取 締 役
情 報 通 信	横 井 好 明	横井通信工業㈱	代 表 取 締 役
産 婦 人 科 医	近 藤 襄	近藤病院	院 長
不 動 産 業	土 志 田 猛	㈱岩本不動産商会	代 表 取 締 役
ビ ル 賃 貸	遠 藤 一 典	㈱藤栄	代 表 取 締 役
土 地 賃 貸	斎 藤 宏 一	斎藤興業開発㈱	取 締 役 社 長
看 板 広 告	高 嶋 経 保	横浜標識㈱	代 表 取 締 役

開 放 94 充 填 32
未 充 填 62
シニアアクティブ会員 16

